



市議会6月定例会

市長説明

市議会6月定例会が、市役所本庁舎議場で6月14日(火)から30日(木)までの17日間の会期で開催されました。初日に行われた市長説明の概要をお知らせします。

問合せ 総務課 ☎89・2113

◎新型コロナウイルス感染症の対応

全国的には3月、4月の異動シーズンやゴールデンウィークに一時的に感染者数が増加したものの、現在は減少傾向にあります。能代保健所管内においても、学校、保育所のほか、多くの事業所や施設などでクラスターが発生し、5月上旬に過去最多となる感染者数が確認されるなど増加傾向にありましたが徐々に減少に転じております。

こうした中、3年ぶりに能代カップや嫁見まつりが開催されたほか、7月23日の港まつり能代の花火を皮切りに、こども七夕、能代七夕天空の不夜城、能代役七夕などと続く能代の夏祭りや、きみまちの里フェスティバル・きみまち二ツ井マラソンなどの秋のイベントも開催に向けて準備が進められています。市民の皆さんには引き続き基本的な感染防止対策を徹底しながら、コロナ前の生活を取り戻していただけるようお願いいたします。

新型コロナウイルスの3回目接種に

ついては、集団接種を5月29日で終了し、個別接種のみ継続していますが、6月8日現在、3万5767人、74・7%の方が接種を終えています。4回目接種については、国では重症化予防を目的とし、3回目の接種から5カ月

以上経過した60歳以上の方および18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する方などを対象としており、本市においては、60歳以上の方の接種を開始しています。今後、能代市山本郡医師会、関係機関などと連携をとりながら、ワクチン接種が円滑に進むよう、状況に応じて適宜対応していきます。

新型コロナウイルス感染症に関する経済対策については、ロシアによるウクライナ侵攻などを起因とする原油価格や物価高騰の影響などもあり、地域経済や市民生活は依然として厳しい状況にあります。こうした中、5月30日に、能代商工会議所および二ツ井町商工会の連名で要望書が提出されたほか、コンベンション施設運営事業者や公共

交通事業者からも支援を要望されています。

これらを踏まえ、昨年度に引き続き長期影響継続事業者支援金および公共交通事業者車両維持支援金の交付に係る予算を今定例会へ提出しています。

◎総合計画後期基本計画

現在の第2次能代市総合計画は、平成30年度から令和9年度までの10年間で基本構想の期間としており、4年度で前期基本計画の計画期間が終了することから、年度内に5年度から9年度までの後期基本計画を策定することとされています。

策定に当たっては、地域の現状や課題などを整理するとともに、総合計画市民協議会で前期基本計画の評価やこれからのまちづくりなどの提案をいただくほか、市民アンケートやパブリックコメント、地元高校生との意見交換なども行いながら、市民との協働により進めていきたいと考えています。

◎旧常盤小中学校の利活用

昨年8月に東急不動産株式会社より、校舎の一部をレンタルオフィスやコワーキングスペースとして活用するとともに、秋田工業高等専門学校と連携した地域の交流拠点づくりに取り組みたい旨の提案があり、庁内検討会議において内容を検証し、課題を整理してきました。

同社の提案内容は本市の産業振興および交流の促進など、地域活性化に資すると期待されることから、今後、賃貸借契約などの締結に向け、各部長などで構成する「未利用建物利活用者選定委員会」で事業内容を精査するとともに、貸し付けに要する設備の設置や破損箇所の修繕などを進めていきたいと考えています。

◎福祉医療制度の拡充

現在の制度では、0歳の医療費は全額助成、1歳から中学生までは、市民税所得割非課税世帯は全額助成、課税

世帯は半額助成とし、自己負担の上限を医療機関ごとにレセプト1件当たり月1000円としています。

高校生などについては、市民税所得割非課税世帯は全額助成とし、課税世帯は制度の適用外でありましたが、10月1日から課税世帯についても、1歳から中学生までの取り扱いと同様とすることとし、関係予算を今定例会へ提出しています。

◎能代港周辺での洋上風力発電事業

地元企業も参画する丸紅株式会社を中心とした特別目的会社「秋田洋上風力発電株式会社」によると、今月下旬から能代港港湾区域内で発電設備の据付工事に着手することとしており、年末までに国内初の本格的な洋上風力発電を開始する予定とのことです。今後、国の2050年カーボンニュートラルの達成に向けて、技術開発が期待される浮体式も含め、洋上風力発電の導入がさらに加速されるものと考えています。こうした中、着床式や浮体式、新たな発電技術を含め、全国の関係市町村での洋上風力発電に関する調査研究や情報共有などを目的に、促進区域に指定されている海域の6市2町を発起人とする「(仮称)全国洋上風力発電市町村連絡協議会」をはじめ、県内関係自治体による情報共有などを図る「(仮称)秋田県洋上風力発電市町

村連絡協議会」の設立準備を進めているところであります。

市といたしましては、全国での洋上風力発電の導入の動きを一層加速し、産業振興や雇用創出、地域活性化など、この地域がより多くのメリットを享受できるよう、引き続き、能代港洋上風力発電拠点化期成同盟会を中心に取り組んでいきます。

◎働き手確保対策……………

ハローワーク能代管内の有効求人倍率は昨年7月には2倍を超え、その後

も県内で突出して高い状態が続いています。今後、中国木材株式会社や洋上風力発電関連の事業者の進出を控え、本市にとって働き手確保対策は喫緊の最重要課題となっています。

こうした中、令和4年2月に株式会社広済堂H Rソリューションズより「地域の雇用創出と人材不足解消による地域経済の活性化支援における官民連携事業」の提案があり、本市が抱える働き手不足の課題などについて意見交換する中で、多方面にわたる地域課題の解決に向けて協力していくことで

合意し、5月30日に同社にとって全国初となる「能代市地域活性化包括連携協定」を締結したところであります。本協定の目的は、本市における企業の働き手確保対策を主としていますが、同社の東北エリアで40年にわたって地域の問題に向き合ってきた知識やノウハウを生かしながら、今後の少子高齢化・デジタル化などに伴い多様化する市民ニーズや地域課題に対しても連携して取り組んでいきたいと考えています。

4年度 6月 補正予算

単位：千円

	現計予算	補正額	補正後予算
一般会計	29,995,874	1,086,126	31,082,000
企業会計 水道事業	1,961,466	200	1,961,666

一般会計 6月 補正予算の主な歳出

単位：千円

庁舎管理費	△4,657	●県産米品質向上支援事業費補助金	4,061
●自治体DX推進事業費	9,864	土地改良施設維持管理適正化事業費補助金	2,080
●過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業費補助金	15,000	林道補修事業費	18,295
●結婚新生活支援事業費	18,300	●長期影響継続事業者支援金支給費	331,518
一般管理費(二ツ井町庁舎)	△5,436	サテライトオフィス設置等支援事業費	4,400
●コンビニ交付サービス事業費	15,367	●公共交通事業者車両維持支援事業費(新型コロナ対策)	16,450
●キャッシュレス決済導入事業費	4,220	●旧常盤小中学校シェアオフィス等環境整備事業費	8,142
福祉医療事業費	5,581	能代工業団地拡張事業費(工業団地東側)	9,055
能代ふれあいプラザ管理費	△8,243	●能代工業団地拡張事業費(工業団地西側)	332,582
●子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費(ひとり親以外の世帯分)	27,914	次世代エネルギー導入促進事業費	15,948
放課後児童クラブ事業費	4,224	中心市街地活性化推進事業費	9,721
子ども・妊婦等予防接種費	6,522	旧市民体育館補修費	6,699
新型コロナウイルスワクチン接種対策事業費	165,247	●感染症対策等支援事業費(小学校)	5,440
のしろ人材確保支援事業費	5,562	●感染症対策等支援事業費(中学校)	3,336
		林道災害復旧事業費	16,372

(●は新規事業)